

2020 年度 関西大学社会安全学部
スポーツ・フロンティア入学試験問題

小論文

注意事項

- ・ 試験時間は 90 分です。
- ・ あなたの受験番号を、下記の受験番号欄に記入してください。
- ・ 解答はすべて、別紙解答用紙に記入してください。
- ・ 問題は全部で 6 ページあり、〔問 1〕～〔問 2〕まであります。
- ・ 試験終了後に問題用紙は回収しますが、下書き用紙として使用しても構いません。

受験番号					
------	--	--	--	--	--

〔問1〕

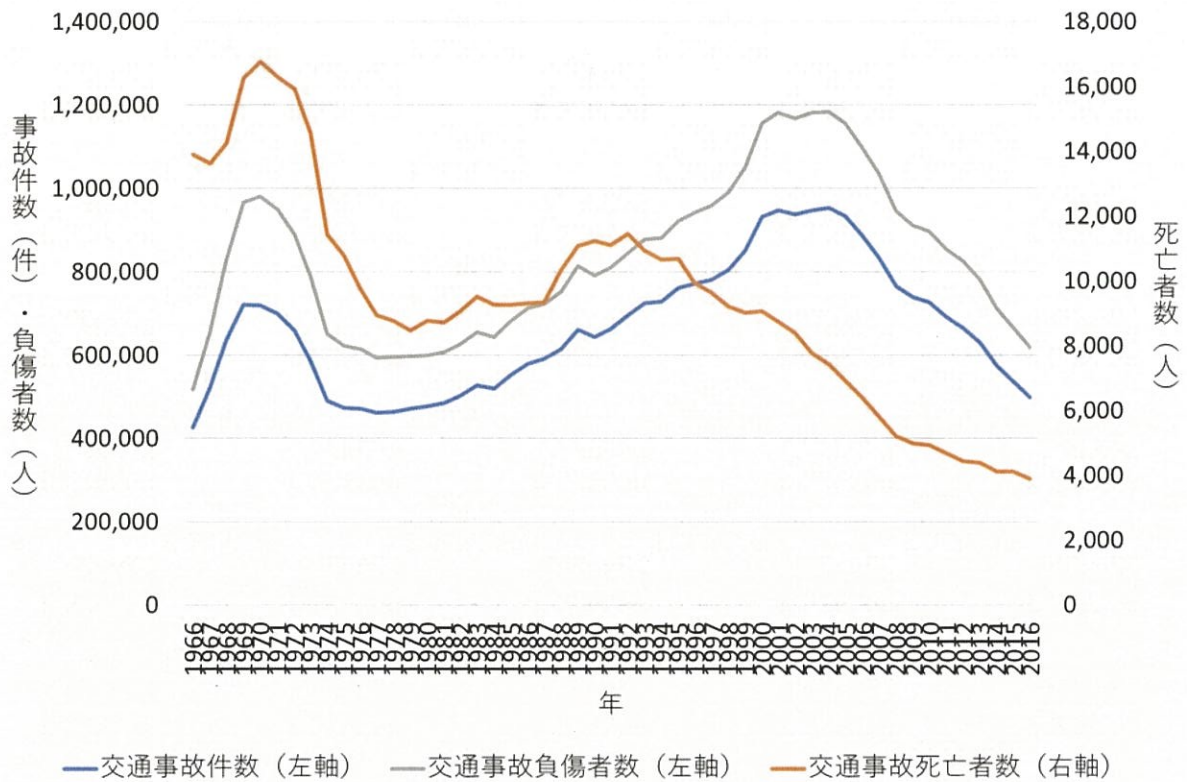
日本では、1955年頃から交通事故で命を落とす人が急増した。1959年には、1年間の交通事故による死亡者数が1万人を突破し、翌年には1万2000人を超えた。この2年間における交通事故死亡者数が日清戦争における日本側の戦死者数を超えるような状況であったことから、こうした状況は「交通戦争」と呼ばれるようになった。交通事故による犠牲者は、その後も増え続け、1970年には1万6765人という過去最悪の犠牲者数となった。その後、交通事故による死亡者数は、いったんは減少するものの、1988年に再び1万人を超えたことから、「第二次交通戦争」と呼ばれるようになった。

以上に関連して、以下の問①～③に答えなさい。

問① 図1は、日本における1966年以降の交通事故件数、負傷者数、死亡者数の推移を表したものである。また、図2は、日本における1966年以降の車両保有台数、運転免許保有者数、自動車走行キロの推移を表したものである。これら図1及び図2から読み取れる交通事故の特徴について述べなさい。

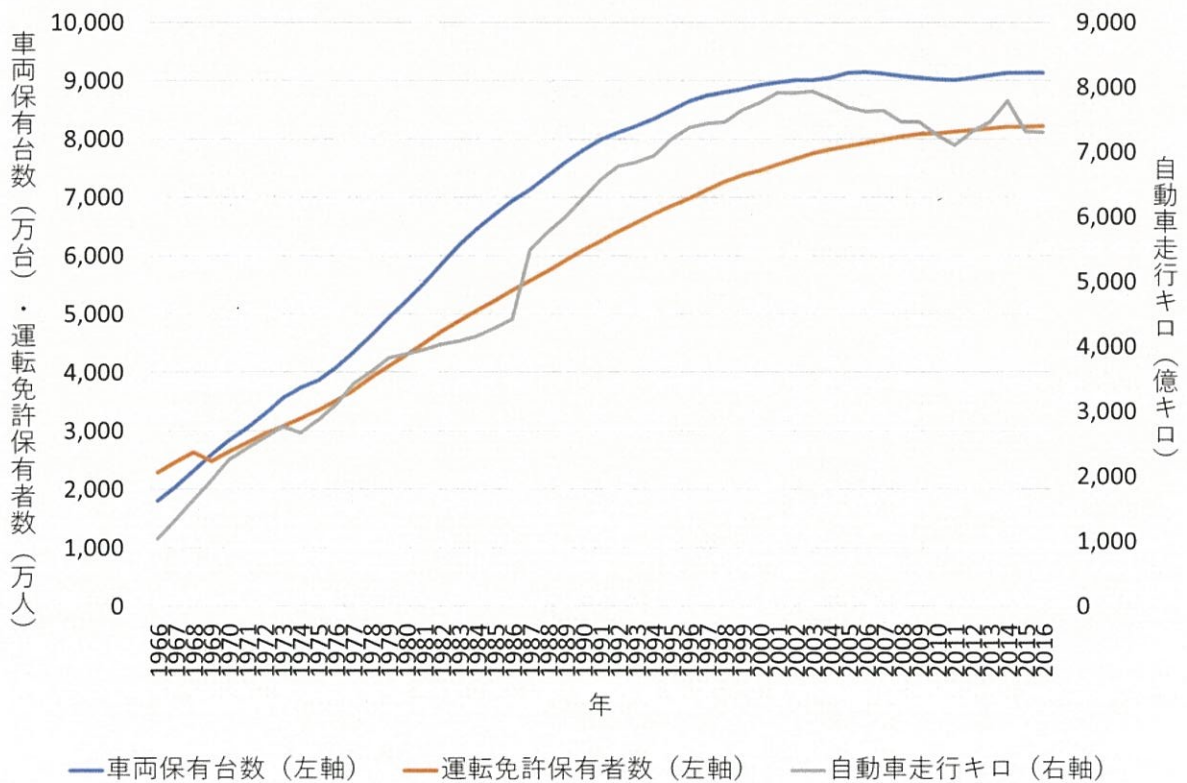
問② 表1は、日本における1970年と1993年の事故類型別の交通事故件数及び死亡事故件数を表したものである。この表1を参考にして、1970年と1993年の交通事故を比較したときにどのような違いがあるのか説明しなさい。

問③ 表2は、日本における2016年の事故類型別の交通事故件数及び死亡事故件数を表したものである。表1及び表2を参考にして、1970年頃から1993年頃の間実施されたとと思われる交通事故対策と1993年頃から2016年頃の間実施されたとと思われる交通事故対策のそれぞれについて述べなさい。



出典) 公益財団法人交通事故総合分析センター『平成 29 年版 交通統計』を元に作成

図 1 交通事故件数・交通事故負傷者数・交通事故死亡者数



出典) 公益財団法人交通事故総合分析センター『平成 29 年版 交通統計』を元に作成

図 2 車両保有台数・運転免許保有者数・自動車走行キロ

表1 1970年及び1993年の事故類型別交通事故件数・死亡事故件数

事故類型		事故類型別交通事故件数				事故類型別死亡事故件数			
		1970年	構成比	1993年	構成比	1970年	構成比	1993年	構成比
人対車両	対面通行中	8,571	1.2%	3,649	0.5%	347	2.3%	106	1.0%
	背面通行中	13,770	1.9%	6,844	0.9%	587	3.9%	260	2.5%
	横断歩道横断中	25,308	3.5%	19,771	2.7%	636	4.2%	483	4.7%
	横断歩道付近横断中	9,505	1.3%	5,413	0.7%	440	2.9%	340	3.3%
	その他横断中	90,557	12.6%	34,565	4.8%	2,897	19.2%	1,291	12.5%
	路上遊戯中	資料なし		1,641	0.2%	資料なし		16	0.2%
	路上作業中	5,694	0.8%	1,454	0.2%	220	1.5%	50	0.5%
	路上横臥	資料なし		資料なし		資料なし		資料なし	
	その他	17,622	2.5%	10,831	1.5%	647	4.3%	330	3.2%
	小計	171,027	23.9%	84,168	11.6%	5,774	38.2%	2,876	27.9%
車両相互	追越時正面衝突	8,842	1.2%	1,346	0.2%	627	4.1%	108	1.0%
	その他正面衝突	39,953	5.6%	35,833	4.9%	1,574	10.4%	1,293	12.6%
	追突	172,330	24.1%	180,915	25.0%	899	5.9%	516	5.0%
	出会い頭衝突	100,297	14.0%	204,862	28.3%	990	6.6%	1,598	15.5%
	右折時衝突	70,873	9.9%	64,669	8.9%	760	5.0%	510	5.0%
	左折時衝突	17,978	2.5%	28,504	3.9%	181	1.2%	67	0.7%
	追越時衝突	20,607	2.9%	10,847	1.5%	423	2.8%	118	1.1%
	すれ違い時衝突	12,657	1.8%	6,566	0.9%	219	1.4%	42	0.4%
	その他	49,384	6.9%	63,866	8.8%	761	5.0%	516	5.0%
	小計	492,921	68.8%	597,408	82.5%	6,434	42.6%	4,768	46.3%
車両単独	駐車車両衝突	4,690	0.7%	2,457	0.3%	260	1.7%	194	1.9%
	転倒	8,932	1.2%	8,151	1.1%	368	2.4%	159	1.5%
	路外逸脱	19,057	2.7%	5,992	0.8%	1,384	9.2%	504	4.9%
	防護柵衝突	4,292	0.6%	7,888	1.1%	221	1.5%	522	5.1%
	分離帯・安全島衝突	1,844	0.3%	1,749	0.2%	92	0.6%	140	1.4%
	その他工作物	資料なし		14,309	2.0%	資料なし		1,115	10.8%
	その他	13,612	1.9%	2,337	0.3%	581	3.8%	21	0.2%
	小計	52,427	7.3%	42,883	5.9%	2,906	19.2%	2,655	25.8%
合計	716,375	100.0%	724,459	100.0%	15,114	100.0%	10,299	100.0%	

出典) 公益財団法人交通事故総合分析センター『平成29年版 交通統計』、『平成5年版 交通統計』を元に作成

表 2 2016 年の事故類型別交通事故件数・死亡事故件数

事故類型		事故類型別 交通事故件数		事故類型別 死亡事故件数	
		2016 年	構成比	2016 年	構成比
人対車両	対面通行中	3,145	0.6%	39	1.0%
	背面通行中	4,887	1.0%	94	2.5%
	横断歩道横断中	16,336	3.3%	279	7.5%
	横断歩道付近横断中	1,538	0.3%	118	3.2%
	その他横断中	11,977	2.4%	543	14.5%
	路上遊戯中	336	0.1%	3	0.1%
	路上作業中	763	0.2%	27	0.7%
	路上横臥	325	0.1%	89	2.4%
	その他	12,245	2.5%	111	3.0%
	小計	51,552	10.3%	1,303	34.9%
車両相互	追越時正面衝突	147	0.0%	18	0.5%
	その他正面衝突	10,234	2.1%	340	9.1%
	追突	184,567	37.0%	203	5.4%
	出会い頭衝突	120,679	24.2%	490	13.1%
	右折時衝突	40,136	8.0%	187	5.0%
	左折時衝突	21,555	4.3%	55	1.5%
	追越時衝突	8,447	1.7%	41	1.1%
	すれ違い時衝突	5,167	1.0%	20	0.5%
	その他	42,857	8.6%	91	2.4%
	小計	433,789	86.9%	1,445	38.7%
車両単独	駐車車両衝突	832	0.2%	31	0.8%
	転倒	3,425	0.7%	79	2.1%
	路外逸脱	1,052	0.2%	250	6.7%
	防護柵衝突	1,834	0.4%	172	4.6%
	分離帯・安全島衝突	533	0.1%	52	1.4%
	その他工作物	4,036	0.8%	359	9.6%
	その他	2,069	0.4%	42	1.1%
	小計	13,781	2.8%	985	26.4%
合計	499,122	100.0%	3,733	100.0%	

出典) 公益財団法人交通事故総合分析センター『平成 29 年版 交通統計』を元に作成

[問 2] 以下の英文は米国ハワイ州の州都ホノルル市で 2017 年 10 月 25 日に施行された, ある条例に関する記事である. これを読み, (1)~(5)の問いに答えなさい.

(著作権の許諾を得られていないため、掲載していません。)

(出典：米国 ABC News 2017 年 10 月 25 日の記事を一部改変)

text(ing) :	文字を打ち込むなどの操作をする (こと)		
illegal :	違法な	pedestrian :	歩行者
cell phone :	携帯電話	slam with :	徴収する
fine :	罰金	offence :	違反
motorist :	自動車・オートバイ運転者	distracted :	注意散漫な
injuries :	負傷者	incident :	事故
preliminary data:	速報値	project :	予測する
unprecedented :	先例のない	fatalities :	死者
countermeasure :	対策	ordinance :	条例

- (1) タイトルの下線部①は近年、日本でも社会問題となっている行為である。対応する日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部②の英文を日本語に訳しなさい。
- (3) GHSA の予測に基づくと、2016年に米国の道路上で死亡する歩行者の数は2014年に比べて何パーセント増加することになるか？
- (4) 下線部①の行為に関する条例違反が3度目であるときに徴収される罰金額を答えなさい。
- (5) この条例の対象となる device (機器) を4つ日本語で示しなさい。

(以 上)